

第3回『円い町』文学賞募集

募集期間：2024年6月15日～2025年8月31日

主催：サークル『円い町』

後援：新居浜市教育委員会

応募要項

主催：サークル『円い町』

募集テーマ：「共生社会」を目指し「差別のない社会」を願い、心に溜まったモノを吐き出す（ただし、誹謗中傷は不可）タイトルは自由。

- ① 小説・随筆部門 A4判 400字詰原稿用紙3～30枚パソコンの場合20字×20行
- ② 詩部門 A4判 400字詰原稿用紙 1枚
- ③ ①②部門共、未発表のものに限る。

賞金

- ① 小説・随筆部門 一席 1名 3万円
二席 2名 1万円
佳作 若干名 5千円
- ② 詩部門 一席 1名 5千円
二席 2名 3千円の図書券
佳作 若干名 1千円の図書券

入賞者該当者なしもあり/寂靜特別賞があるときあり

選考員 作家、鈴木寂靜 他

応募要件年齢不問日本語のみ

締め切り 2025年8月31日（当日消印有効）

発表 2026年3月31日

応募に関して、表紙に【小説・随筆・詩】を明記する。名前（ペンネームも）フリガナ・郵便番号・住所・年齢・職業・連絡先・枚数を表紙1枚に書き、通し番号を記入し、右肩を綴じる。鉛筆書きは不可。応募作品は返却しないので、必要な人はコピーをお取りください。

応募先：〒792-0893

愛媛県新居浜市多喜浜1-7-30

鈴木寂靜『円い町』文学賞事務局

問い合わせ：0897-45-3216

主旨

～ここに溜まっているモノを吐き出そう～

『円い町』文学賞は、第3回をもって最終回とします。私は「精神障がい者」という言葉はもう使いません。なぜなら、年齢を重ねてくると誰もが障がい者となり得るからです。（私は現在74歳です）さて、みなさん「健常者」という方はこの世にいらっしゃるのでしょうか。心も体も「常に健やか」という方はいらっしゃるのでしょうか。否！と私は言いたい。老若男女問わず、「健常者」はこの世には存在しないのです。ということは障がい者もいません。『円い町』即ち「共生社会」も当たり前になって、この言葉も死語になります。「差別のない社会」があるだけです。それが『円い町』即ち「共生社会」の目指すゴールです。そんな社会であろうとも、私たちは誰もが何らかの問題（悩みや苦しみや障がいなど）を抱えながら暮らしているのが常です。それが世の中というもの。人間界というものです。そして、ここに得体の知れないモノがいつの間にか塊（かたまり）となって溜まってきます。この塊を誰に遠慮もしないで、吐き出そうではありませんか。（ただし、誹謗や中傷は不可）最終回はテーマがありません。ただただ心をすっきりさせるために、ひたすら書いてください。多くの方々の参加をお待ちしております。

代表 鈴木寂靜（すずきせきせい）